

平成 30 年度事業計画

[活動方針]

- 問題視されて久しい青少年の家庭内暴力、万引きやいじめ等を無くすためには情操教育が不可欠と考え、日本人の心のふる里「伊勢神宮」に程近い「ひもろぎの里」の大自然の中で野外活動を中心に地元教育機関や多くの人々の協力を得ながら実施して行く。
- 創会の理念である奉仕・友愛・責任・忍耐・進取の精神を次世代の若者達に伝え、幼・少・青壮・老それぞれの世代に応じ、少年から青年へそして壮・老年代へと輪を広げ、自然との共生、年代間の連携を図り、より住みやすい社会建設に貢献して行く。
- 国際協力の一環として、わが国の優れた物造り技術を発展途上国の若者に伝え、その技術を自国に持ち帰り経済発展に寄与できるような人材育成を支援する。

[重点方針]

- 家庭や社会に適応できる青少年の健全育成
- 近隣諸国からの研修生支援
- 会員増強と支部強化
- 「ひもろぎの里」整備の件

[事業内容]

1. 植樹祭

目的：年ごとに森林の面積が減少する現在、森林保護、環境保全を目的に計画した。

事業：大自然一杯の神宮林に囲まれた「ひもろぎの里」に神宮より下付された貴重な苗木を植樹し、世界的に展開されているアースデーの一環としてミニアースデーを展開する。

内容：100本の苗木を植樹、森の話と間伐についての講話とデモンストレーション

開催日：平成30年4月21日（日）

場所：ひもろぎの里

人員：20名

参加費：大人1,000円、子供無料

2. ユースキャンプ

目的：大自然の中での集団生活を通して友情を育み、自然への思いやりや感謝の心、奉仕の精神を養うことを目的に計画した。

事業：「ひもろぎの里」を中心にその周辺で異地区・異年齢の子供達を3泊4日のキャンプ（テント）生活をさせる。

内容：登山・水泳、絵画、史跡巡り等伊勢地方の特色を活かしたものにす。

開催日：平成30年7月28日（土）～7月31日（火）（3泊4日）

場所：ひもろぎの里及びその周辺

人員：50名

参加費：15,000円

3. ワークキャンプ

目的：ユースキャンプの指導者養成と会場整備及び準備を目的として計画した。

事業：近年ユースキャンプの卒業生（OB）の希望者が多々有り、本会としても要請に応じて実施する。

内容：キャンプ場の整備、キャンプ実施に伴う基本事項の習得（飯ごう炊飯の方法、テント、設営、キャンプファイヤーの基本、集団行動の方法、川遊びの基本）

開催日：平成30年7月14日（土）～7月16日（月）2泊3日

参加費：無料

人員：10名

4. 山の神祭り

目的：古来より自然信仰の中で生まれた行事で、広く山里や山林地区で行われている伝統行事を「ひもろぎの里」に祀られた「山の神」で後世に引き継ぐ為に行う。

事業：ここ「ひもろぎの里」は、大和国は地蔵尊、伊勢国は神様と言われた土地柄で、自然の恵に対する感謝を込めて祭りを斎行する。

内容：伊勢神宮より神職を迎え式典を行い、神職による講話がなされる。

開催日：平成30年12月8日（土）

場所：ひもろぎの里

人員：15名

参加費：1,000円

5. 第73回庭燎奉仕・奉納

目的：創会の原点である「奉仕・友愛・忍耐・責任・進取」の精神を涵養する為に行う。

事業：本会主催のこの行事は、昭和20年より神宮の境内をお借りして上記目的を達成するための最重要行事で、69年目を迎え、伊勢地方の風物詩伴っている伝統行事。

内容：伊勢神宮（内宮・外宮両宮）境内で大晦日より元旦にかけ「かがり火」を焚き、全国から初詣に来られる人々の足下を照らし、安全と心の触れ合いを育む。

開催日：平成30年12月30日（日）～平成31年元旦（月）

場所：ひもろぎの里及び両宮境内

人員：120名

参加費：10,000円（会員）、16,000円（一般）

6. 技能実習生（以降実習生という）受け入れ事業

活動方針

国際協力事業の一環として、我が国の優れた物づくりの技術をアジア近隣の発展途上国の若者を受入れ、技術習得のため3～5年間実習生として習得した技術を母国に持ち帰りその経済発展に寄与する事を目標に行う事業である。

重点方針

受け入れた実習生が十分な技術習得が出来、日本をよく理解するためのあらゆる支援活動を行う。

今年度は、受入れ企業からの要望の強いベトナム国からの受入れを重点的に考え、春秋選抜のためにハノイを訪問する予定。

具体的な取り組み

1. 昨年11月大幅改正がなされた新技能実習法に鑑み、今企業に必要な人材確保が重要であり、送出し機関も吟味して協定を結ばなければならない。
2. 春秋二シーズンに別けて、40～50名受け入れるため、受入れ企業の経営者若しくは責任者とベトナム、モンゴル、中国等を訪問し面接を実施する。
3. 来日直後に日本語力をつけるために入校させる日本語学校は、講師、設備、宿泊設備等を精査して入校させ、終了後企業に派遣する。
4. 制度改正による管理団体の責任の大きさを自覚して、常時、企業と技能実習生の監理に留意して計画的に巡回指導と監査を充分に実施していく。
5. 制度改正に伴う介護職種に多くの受入れ要望があるので、初めての人的サービスの在り方と選抜について十分な研究、検討を行い、今年度は少数を受け入れる。

[会 議]

1. 理事会

1) 決算理事会

期 日：平成30年5月26日（土）

場 所：東京本部

議 題：平成29年度事業報告（案）・収支決算（案）の件、
任満了による役員改選の件
「ひもろぎの里」整備の件
その他の件審議

2) 予算理事会

期 日：平成31年1月26日（土）

場 所：神宮会館（三重県伊勢市宇治中之切町152）

議 題：平成32年度事業計画（案）・収支予算（案）の件
平成32年度資金調達及び設備投資の見込みについて
その他の件審議

3) 理事・参与打ち合わせ

期 日：平成30年12月8日（土）

場 所：ひもろぎの里

議 題：第73回庭燎奉仕・奉納の件、他

2. 第7回通常総会

期 日：平成30年6月23日（土）

場 所：神宮会館（三重県伊勢市宇治中之切町152）

議 題：平成30年度事業報告（案）報告・決算報告（案）承認の件
「ひもろぎの里」整備の件
任満了による役員改選の件
その他審議

[広 報]

ホームページを通じ積極的な広報活動を行い、会員増強や会のPRその他に努める。

「ひもろぎの里」管理棟老朽化に伴う改修又は建て替え事業

1. 改修及び建て替えに係わる費用の算出
2. 工期の検討
3. 費用の捻出：免税募金を中心に助成金の調査申請を行う
4. 他